

久保新三郎どのへ

〔古文帖〕小笠原氏所持

武州入間郡田中村三百五十石入間川村百石都合四百五十石右出置畢全可令知行者也仍如件

天正十九辛卯

御朱印

小笠原喜三郎どのへ

〔古文帖〕高室氏

武州高倉村五百石并山林等之事右出置畢全可令知行者也仍如件

天正廿壬辰二月

御朱印

高室豊前守どのへ

〔新編武藏風土記稿九十七多磨郡〕下柚木村

永林寺略中

古文書三通大石氏ヨリノ狀ナリソノ文左ニノス

入東之郡之内久米村之永源寺遣置候惠鑑長老口口御申可爲之候者也仍如件

午六月廿八日

大石心月齋花押

永麟寺參

〔武州文書〕二郷半之内もたい新田

一當新田へ罷移候もの諸役不入たるべく候但其所之堤井堀御普請之時は罷出普請可仕候事

略中

右之旨少も相違有まじく候間のぞみかたハ相移田地可有開發候者也

慶長拾七年子三月五日

伊栗半十花押

もたい新田の藤へもん